

1. 岡山大学の理念・目的・目標

1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなければなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成と的確な知の継承を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 岡山大学の目標

教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

【参考】 岡山大学管理学則

(大学の目的)

第10条 本学は、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、日本国家及び社会の有為な形成者を育成するとともに、学術の深奥を究めて、その成果を広く社会に提供することにより、世界文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 岡山大学文学部の教育理念・目標、ポリシー・コンピテンシー

科学技術の急速な発展やグローバル化の進展の中で、「人間とは何か」という問いが、以前にも増して重要になっています。私たちの学部は、この根源的な問いに、人文学の様々な分野から総合的にアプローチすることを特色としています。人間が長い歴史を通じて築き上げてきた豊かな知的遺産に学び、それを現代に生かすという課題に取り組みます。また、従来の学問の枠組みにとらわれず、人文学内外の多様な領域との協力・連携を積極的に推し進め、新しい人間像の構築に努めます。

文学部の教育においては、古典や外国語文献の読解、資料の調査と分析、フィールドワークなどを通じて、専門的知識を修得するとともに、柔軟で幅広いものの見方を身につけることを重視します。そのような教育を通じて、次のような人材の育成を目指します。

- ・過去から現代にいたる人間の営みに強い関心を持ち、日本や世界の社会・文化についての幅広い教養と国際的な視野を持った人
- ・人間知にかかわる知見と素養を備え、人文学における高度な研究に携わる基礎的能力や意欲を持った人
- ・課題を探究する意欲と能力を持ち、論理的な思考とそれを的確に表現する力量を備え、様々な分野で活躍できる人

文学部ディグリー・ポリシー（DP、学位授与方針）と各DPに対応した文学部コンピテンシー（学習成果）

人間性に富む豊かな教養【教養】

ダイバーシティとグローカルが重視され、多様かつ普遍的な知の獲得が不可欠とされる現代社会にあって、地域・社会・文化と言語との関連性や文化の諸相に関心を持つことは、人間が創り上げた社会の在り方を理解する上での必須のプロセスである。このことを通じて学生は、自らがその一員である現代社会についての認識を深め、社会をより良い方向に導いていくための根源的、内発的な動機を獲得することができる。また、人間が長い歴史を通じて築き上げてきた豊かな思考の伝統と教養を継承しつつ、人間と世界についてみずから問い、探求する上での基礎的能力を身につけることによって、新たな時代における人間社会と文化の方向性を模索し、それを実現し得るだけの思考力と構想力を涵養する。

コンピテンシー（学習成果）

- ・人文学に関する基礎的知識について理解し説明することができる。
- ・人文学に関する基礎的技法を使いこなすことができる。

社会に貢献できる専門性【専門性】

専門的な学識とそれに基づく技能、とりわけ古典・外国語文献の読解、史資料・作品の分析、あるいは実験・調査を行う能力を習得し、それらを活用することができる。

コンピテンシー（学習成果）

- ・人文学の専門的な知識を理解し説明することができる。
- ・人文学の専門的な技能を使いこなすことができる。
- ・社会に貢献する市民となるために必要な方法や手段を構築することができる。

効果的に活用できる情報収集・発信力【情報力】

人類史の過去と未来を見渡す幅広い視野に立ち、必要な情報を収集し、適切な方法で客観的に分析・考察し、その過程と結果を正確に伝達しうる言語表現力を駆使して、それらを評価・発信できる。

コンピテンシー（学習成果）

- ・自分の力で情報を選択し収集することができる。
- ・情報を分析し解釈することができる。
- ・情報を評価し発信することができる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

グローバル化の進展、価値観の多様化の中で「人間とは何か」という人文学の根源である問いをいできつつ、社会・文化・心・言葉・行動に対する論理的思考力を獲得し、併せて多様性、包摂性といった共生・共創のための国際感覚を身につける。さらに、言語表現力、外国語運用能力に裏付けられたコミュニケーション力を用いて積極的かつ創造的に行動することで、社会活動において高度なリーダーシップを発揮する。

コンピテンシー（学習成果）

- ・人文学の観点から現代の諸問題について論理的・批判的に考察することができる。
- ・人文学の観点から異文化について多角的に理解し分析することができる。
- ・人文知を活用して、コミュニケーションをとることができる。
- ・人文知を応用し、社会活動においてリーダーシップをとることができる。

生涯にわたる自己実現力【自己実現力】

人文学的見地に基づいて問題を発見し解決する手続きを、1年次から継続的に学習することで、旺盛な知的好奇心、豊かな感性、先入観に惑わされない公正な思考、自分を客観的に把握する能力を獲得できる。特に、演習科目への参加により調査・情報収集・解析の技法を修得し、卒業論文の作成過程を通じてそれを実践することで、卒業後も生涯にわたって知的関心を持続し、社会に刺激を与えらるとともに自立した個人として自己の成長を追求できる。

コンピテンシー（学習成果）

- ・身に付けた知識や技能を維持しさらなる目標を目指すことで自己管理することができる。
- ・人文知を応用し社会の中で課題を発見し解決することができる。
- ・知的好奇心・公正な思考により、生涯にわたって自己研鑽を継続できる。

文学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

岡山大学文学部は、ディグリー・ポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養，社会に貢献できる専門性，効果的に活用できる情報収集・発信力，時代と社会をリードする行動力，生涯にわたる自己実現力）を備え，グローバル化社会に対応できる人材を育成するため，教養教育科目および専門教育科目を提供しています。

成績は，授業への取り組み，報告，発表状況・レポート，試験など多様な要素を組み合わせで厳格な評価をします。また，試験，レポート等は，成績評価の際に，受講および受講のための学習準備を通じて得られた学習成果が適切に反映されるよう，課題設定を工夫します。また，文学部FD委員会を中心として，継続的な教育方法の改善に取り組んでいます。

文学部人文学科では，人間に深く関わる思想・芸術・社会・心理・歴史・言語・文学を総合的に探究するため，「哲学・芸術学」「地理学・社会学・文化人類学・社会文化学」「心理学」「歴史学・考古学」「言語文化学」の5つの教育分野を設置しています。

授業科目は専門に偏ることのないよう，幅広い学問領域の科目群の履修を求める教養教育科目（30単位必修）と，学部・分野に特有の授業や分野を超えて展開される授業で構成される専門教育科目（94単位必修，卒業論文14単位を含む）に大別されます。こうした科目群を組織的に履修するために，いくつかのプログラムが用意されています。（後述）

1年次には，教養教育科目として，「知的理解」「言語」「実践知・感性」「汎用的技能と健康」「導入教育」を履修するとともに，「人文学の論点」「人文学入門演習」で大学での学習・研究の基礎となる知識や方法について学びます。また，2年次以降（一部は1年次）に履修する専門教育科目として，各分野の学問の基本体系を学ぶ「人文学概説」，各分野の学術研究の最新の成果を解説する「人文学講義」，各分野の研究の技法を実践的に学ぶ「実践演習」，卒業論文の作成のための実地指導である「課題演習」を開設しています。演習科目においては少人数教育を重視し，ディスカッション等を通じて，生きた知識が身につくことを目指します。主専攻プログラムは，所属分野においてこれらの専門教育科目を重点的に履修するものです。さらに，主専攻以外に幅広く積極的に人文学を学ぶ総合人文学プログラムでは，従来の学問の枠組みにとらわれず，現代社会の課題や文化多様性を学ぶ授業科目を開設しています。

また，資格取得のための心理職養成プログラムや学芸員養成プログラム，留学を目指す外国語習得・留学プログラム，さらには，専門性の高い研究指導を行う研究力養成プログラムを開設しています。

学生は，入学後，アカデミック・アドバイザーの支援を受けながら，どのような知識や能力を身につけて卒業するかという4年間の学修計画を主体的に立案します。自らの問題意識に従って，主専攻プログラムにおいて特定の分野の学問を深く究めることも，総合人文学プログラムにおいて，複数の分野にまたがって履修したり，学際的な研究テーマに取り組んだりすることも可能です。

※文学部ディグリー・ポリシーで示す各学士力に対応したカリキュラム・ポリシーは，岡山大学公式ホームページに掲載しています。